

国固有安全文化フォーラム (CSSCF) 日本開催への参加

令和5年7月5日
原子力規制庁

1. 趣旨

経済協力開発機構／原子力機関 (OECD/NEA) から原子力規制委員会に対し、本年12月に日本で開催される国固有安全文化フォーラム (Country Specific Safety Culture Forum、以下「CSSCF」と言う。) への参加要請がなされたことから、CSSCFの参加に係る対応方針の了承について諮るものである。

2. CSSCF の概要

CSSCFは、OECD/NEAと世界原子力発電事業者協会 (WANO) との共催により、各国の国民性が原子力の安全文化、原子力施設の安全な運用にどのような影響を及ぼすかについて、参加者によるロールプレイ (役割演技) とそれに基づく議論により考察することを目的とするフォーラムである。これまでに、スウェーデン、フィンランド、カナダで開催されている (別紙1参照)。

フォーラム開催に先立ち、NEA事務局は、事業者及び規制当局の様々な階層の関係者にインタビューを行い、それを基にロールプレイのシナリオを作成する。フォーラムでは、事業者及び規制当局からの参加者は、当該シナリオに基づいたロールプレイを行い、その後、その内容に基づいた小グループによる議論及び全体討論を行う。フォーラムにおける議論の結果は、インタビュー分析結果と併せて国民性の観点から分析がなされ、OECD/NEAの報告書としてまとめられ公開される。

日本で開催予定のCSSCFには、事業者及び規制当局の他、海外の規制当局、我が国の原子力発電所が立地している自治体からも関係者の参加が予定されている。また、オープニングセッション、クロージングセッション等は公開で行われ、ロールプレイ、小グループによる議論及び全体討論は非公開で行われる予定 (別紙2参照)。

3. CSSCF の参加に係る対応方針 (了承事項)

以下のとおり、原子力規制委員会及び原子力規制庁がCSSCFに参加する。

- ・山中委員長のオープニングセッションにおける挨拶
- ・伴委員の参加とクロージングセッションにおける挨拶
- ・原子力規制庁職員の参加
- ・NEA事務局により開催される準備会合への原子力規制庁の参加

以上

<別紙>

別紙 1 国固有安全文化フォーラム（CSSCF）のこれまでの開催実績

別紙 2 国固有安全文化フォーラムの日本開催について